

令和元年度取組状況及び令和2年度事業計画(案)について

項 目	具 体 策	令和元年度事業計画 重点取組事項	令和元年度 取組状況 (R1.12月末時点)	令和2年度事業計画 重点取組事項(案)
I 府内全域の図書館をつなぎ、支援するとともに、協力して図書館サービスを展開します				
1 府内の各図書館とのネットワークの強化	(1) 総合目録ネットワークシステム(K-Libnet)の確実な運用と加盟機関の拡大			
	(2) 府内各大学との相互貸借の促進	○総合目録ネットワークシステムの充実と加盟機関の拡充 ▷ 86機関⇒98機関 特別支援学校9、総合教育センター、同北部研修所、京都橋大学(予定)	○総合目録ネットワークシステムの充実と加盟機関の拡充 86機関⇒99機関 特別支援学校9、総合教育センター、同北部研修所、京都橋大学、京都ノートルダム女子大学の13機関が加盟 ○大学との相互貸借(拡充) ▷ 京都ノートルダム女子大学(12月)、京都橋大学(1月)相互貸借試行開始 9大学⇒11大学	○総合目録ネットワークシステムの確実な運用(継続) ○大学との相互貸借(拡充) ▷ 花園大学、京都ノートルダム女子大学、京都橋大学との本格実施 ▷ 新たな大学への拡充
	(3) 共同研究等を通じたシステム改善と利便性の向上	○大学との相互貸借(拡充) (京都橋大学等を予定) ○産官学プロジェクト(継続) ▷ AIワーカーによる書誌割れの統合を推進 ▷ 書誌データのリッチ化(総合目録における書影表示等)を検討	○産官学プロジェクト(継続) ▷ 書誌データのリッチ化に向けて作成中 ○相互貸借のための連絡協力車を週2回巡回(継続) ▷ 巡回回数 274回(4月~12月) ▷ 搬送冊数 43,678冊(4月~12月) ▷ 上記冊数以外に学校支援セット貸出 20,034冊、府立学校機関貸出 4,123冊あり	○産官学プロジェクト(継続) ▷ 総合目録における重複書誌データのクリーニングのための準備 ○相互貸借のための連絡協力車を週2回巡回(継続) ○市町村立図書館等への職員巡回(継続) ▷ 年間3回・6コースを各2~3人で、各訪問時間60分で巡回
	(4) 府内の図書館との物流改善	○相互貸借のための連絡協力車を週2回巡回(継続) ○市町村立図書館等への職員巡回(継続) ▷ 年間3回・6コースを各2~3人で、各訪問時間60分で巡回	○市町村立図書館等への職員巡回(継続) ▷ 6~7月、10月、2月(予定)に6コースを各2~3人、訪問時間各60分で巡回	
	(5) 職員の府内各機関巡回の維持・拡充			
2 市町村立図書館等への支援	(6) 市町村立図書館支援のための資料の充実		○市町村立図書館等支援のための資料の充実(継続) ▷ 4月~12月 購入冊数 2,132冊 ▷ 内リクエスト受付数: 165件 ▷ 資料の収集方針に基づいた資料の購入4~12月 7,371冊	○市町村立図書館等支援のための資料の充実(継続) ▷ 収集方針に基づいた資料の購入
	(7) 図書館運営にかかる情報の積極的な収集と提供	○市町村立図書館等支援のための資料の充実(継続) ▷ 資料収集方針に基づいた資料の購入 ▷ 市町村立図書館等からのリクエストによる資料の購入 ○図書館運営に関する情報の積極的な収集と提供(継続) ▷ 市町村立図書館等の職員巡回	○図書館運営に関する情報の積極的な収集と提供(継続) ▷ 6~7月、10月、2月(予定)に6コースを各2~3人、訪問時間各60分で巡回 ▷ 市町村立図書館長会議開催(4月24日)	○図書館運営に関する情報の積極的な収集と提供(継続) ▷ 市町村立図書館等の職員巡回
	(8) 市町村立図書館職員等へのより充実した研修の実施	(年間3回・6コース・2~3人で各訪問時間60分) ▷ 年度当初に市町村立図書館長会議を開催 ○市町村立図書館職員等の研修(継続) ▷ 年間7回程度の研修を実施 ▷ うち出前研修を本格実施(新規)(5回実施)	○市町村立図書館職員等の研修(継続) ▷ 相互貸借初心者研修(6月7日)、レファレンス(初級)研修(7月12日) ▷ 【出前研修】(本格実施:5回) 9月3日(向日市立図書館:レファレンス) 9月26日(宇治市中央図書館:レファレンス) 10月31日(宮津市立図書館:レファレンス) 11月26日(舞鶴市立東図書館:本の修繕) 1月31日(木津川市立中央図書館:本の修繕)	○市町村立図書館職員等の研修(拡充) 7回⇒8回 ▷ 相互貸借初心者研修、レファレンス(初級)研修 ▷ 中堅職員(5~10年)対象レファレンス研修(新規) ▷ 市町村立図書館を会場とした出前研修の実施(5ヶ所)
	(9) 市町村立図書館のレファレンス機能充実への支援強化	○市町村立図書館等のレファレンス機能の支援(継続) ▷ K-Libnetを活用した市町村立図書館等からの相談に対応	○市町村立図書館等のレファレンス機能の支援(継続) ▷ 市町村立図書館等からのレファレンス(35件、K-Libnet総数639件)	○市町村立図書館等のレファレンス機能の支援(継続) ▷ 市町村立図書館等からの相談に対応
	(10) 各機関で協働した展示・イベントの開催			
3 学校支援の充実	(11) 児童・生徒の調べ学習や学生の調査研究の積極的な受け入れ		○調べ学習や調査研究の受け入れ及び研修機会の提供 ▷ 受入実績...38校・団体、計699人 ▷ 小学校4校(157人)、中学校1校(2人)、高校5校(125人)、大学16校(272人)、専門学校1校(14人)、府内教職員2団体(34人)、図書館1館(1人)、国・他府県行政等3団体(8人)、一般5団体(86人) ▷ 京都府立大学キャリア演習ゼミ(12人)の調査研究への指導助言 ▷ 同志社大学図書館司書課程履修者の実習受入(6人) ▷ 大学生向け案内パンフレット「京都府立図書館利用のススメ」を大学コンソーシアム京都加盟の府内37大学に配布・広報	○調べ学習や調査研究の受け入れ及び研修機会の提供(継続) ▷ 小・中・高・特別支援・専門学校・大学の児童生徒・学生の積極的な受入
	(12) 学校図書館運営のための支援の充実	○調べ学習や調査研究の受け入れ及び研修機会の提供(継続) ▷ 小・中・高・専門学校・大学の児童生徒・学生の調べ学習の受け入れ ▷ 小中学校教育研究会、京都府立高等学校図書館協議会等への研修機会の協力 ▷ 大学や専門学校の調査研究の受け入れの促進 ▷ 大学生向け案内パンフレットを府内各大学に配布・広報 ▷ 特別支援学校長会と連携した資料の充実策について検討	○大学からのインターンシップの受け入れ ▷ 京都女子大学司書課程履修者7名のインターンシップを受入(6月4日開始) ○学校図書館運営のための支援(継続) ▷ 総合教育センター主催「図書館教育講座」への協力 ~調べ学習を支援する学習センターとしての図書館の在り方~ 8月23日(金)、教職員27人来館、講義及び館内見学を実施 ▷ 京都府立学校図書館協議会司書部会研究大会 12月5日(木)、学校司書51人来館、講義及び館内見学を実施 ▷ 京都府立高等学校図書館協議会特別支援学校ブロック会議 12月26日(木)、教職員等8人来館、講義及び館内見学を実施	▷ 京都府立大学キャリア演習ゼミの受入 ▷ 同志社大学図書館司書課程履修者の実習受入 ○大学からのインターンシップの受け入れ(継続) ▷ 京都女子大学司書課程履修者
	(13) 学校支援セット等の資料の充実と提供方法等の改善	○学校図書館運営のための支援(継続) ▷ 総合教育センター主催の「図書館教育講座」への協力 ○学校支援セット貸出の促進と資料の充実(新規) ▷ 学校支援セット案内パンフレット配布による広報の強化 ▷ 府内小・中の各学級等に配布(10,000部)、府立学校(5,000部) ▷ 総合教育センターと連携し、新学習指導要領に基づいた学校支援セットの構成を検討 ▷ 府総合教育センター、同北部研修所での学校支援セットの展示 ▷ 学校支援セットのホームページの改善	○学校支援セット貸出の促進と資料の充実(新規) ▷ 学校支援セット案内パンフレット配布による広報の強化 ▷ 府内小・中の各学級等に配布(10,000部)、府立学校(5,000部) ▷ 総合教育センターと連携し、特別支援教育のセットや新学習指導要領に基づいたセットを準備中 ▷ 各関係組織の会合の場に出向いて、説明と積極的な活用を依頼 ○京都府小学校校長会理事会 ○京都府中学校校長会理事会 ○京都府立高等学校校長会理事会 ○京都府立特別支援学校校長会 ○京都府小学校・中学校教育研究会図書館研究協議会 ○京都府立高等学校図書館協議会司書部会	▷ 特別支援学校長会と連携した支援 ○特別支援学校への支援の充実(継続) ▷ 特別支援学校長会と連携した支援 ○学校支援セット貸出の促進と資料の充実(継続) ▷ 学校支援セット案内パンフレット配布による広報の強化 ▷ 府総合教育センター、同北部研修所で学校支援セットの展示 ▷ 総合教育センターと連携し、新学習指導要領に基づく学校支援セットの新設(新規) ▷ 総合教育センターと連携し、特別支援教育に役立つ学校支援セットの新設(新規)
	(14) 特別支援学校への資料や情報提供などの支援強化	○特別支援学校への支援の拡充(新規) ▷ K-Libnet参加とそれに伴う資料提供の充実	▷ 総合教育センター(北部含む)での学校支援セット貸出の展示(6月~) ▷ 市町村立図書館・読書施設職員巡回において学校支援セット貸出充実に向けて意見聴取 ○特別支援学校への支援の充実(継続) ▷ 特別支援学校長会で意見を聴取	○特別支援学校への支援の充実(継続) ▷ 特別支援学校長会と連携した支援

令和元年度取組状況及び令和2年度事業計画(案)について

項目	具体策	令和元年度事業計画 重点取組事項	令和元年度 取組状況 (R1.12月末時点)	令和2年度事業計画 重点取組事項(案)
4 子ども読書活動の支援	(15) 児童サービス等に関する情報の集積と発信 (16) 子ども読書本のおしりコンテスト等の事業推進 (17) 子ども読書活動に関するワークショップ等の実施 (18) 多様な講師を招聘した研修の実施	○府内市町村図書館での児童サービスをHPで紹介 ○子ども読書本のおしりコンテストの実施(継続) ▷ 応募数の増加(10,000件) ▷ 市町村立図書館等での巡回展示(34施設) ○「子どもの居場所づくり」や「子ども食堂」を実施している団体に本を貸し出す「子どもへの読書活動支援事業」の実施(継続) ○家庭支援総合センターへの貸出事業(継続) ○教育支援センター・適応指導教室及び府教委認定フリースクールへの本の貸出事業(新規)	○府内市町村図書館での児童サービスをHPで紹介 ○子ども読書本のおしりコンテストの実施(継続) ▷ 応募数(7,436件) ▷ 11月5日京都府庁から入選作品を巡回展示(34施設) ○「子どもの居場所づくり」や「子ども食堂」を実施している団体に本を貸し出す「子どもへの読書活動支援事業」の実施(15団体、1,280冊貸出) ○インターンシップによる読み聞かせ<10月22日:雨天中止> ○京都府家庭支援総合センターへの貸出事業400冊(継続) ○教育支援センター・適応指導教室及び府教委認定フリースクールへの本の貸出事業(新規9月~開始、フリースクール2校と調整中)	○府内市町村図書館での児童サービスをHPで紹介 ○子ども読書本のおしりコンテストの実施(継続) ▷ 応募数の増加(10,000件) ▷ 市町村立図書館等での巡回展示(34施設) ○「子どもの居場所づくり」や「子ども食堂」を実施している団体に本を貸し出す「子どもへの読書活動支援事業」の実施(継続) ○家庭支援総合センターへの貸出事業(継続) ○府教委認定フリースクールへの本の貸出事業(継続)
II 多様な文化資源の情報を取り扱い、歴史と立地を活かしながら、幅広い調査研究のニーズに応えます				
5 多様な資料の収集・整理・提供	(19) 収集方針にそった多様な形態の資料の積極的な収集 (20) 目録・検索機能の向上 (21) 限られた開架スペースへの配架の工夫	○収集方針にそった資料の収集(継続) ▷ 資料の収集 調査研究に資する図書等の積極的収集及び提供 ▷ 各施設との連携事業や図書館連続講座にあわせた資料の収集 ▷ DVD上映会(活用講座)により視聴覚資料の提供機会を拡大 ▷ 上映用のDVD資料収集を強化 ○目録・検索機能の充実(継続) ▷ 京都橋大学等(追加予定) ▷ 産官学プロジェクトの実施(継続) AIワーカーによる書誌割れの統合の推進と書誌データのリッチ化(総合目録における書影表示等)を検討 ○逐次刊行物の巻号情報の遡及入力(継続) ▷ 遡及入力と登録点検 ▷ データ化されていない逐次刊行物の特集内容を登録	○収集方針にそった資料の収集(継続) ▷ 資料の収集(7,371冊:4月~12月) うち、調査研究に資する1万円以上の図書450冊購入(延べ貸出165回) ▷ 各施設との連携事業や図書館連続講座にあわせた資料の収集 ▷ DVD上映会を夏休み期間に開催し、広域の府民に広報又は啓発(計6回開催、延べ165人参加)、上映用のDVD資料収集を強化 ○目録・検索機能の充実(継続) ▷ 京都橋大学、京都ノートルダム女子大学(追加) ▷ 産官学プロジェクトの実施(継続) 書誌データのリッチ化に向けて作成中 ○逐次刊行物の巻号情報の遡及入力 ▷ 遡及入力と登録点検(725誌:4月~12月) ▷ データ化されていない逐次刊行物の特集内容を登録	○収集方針にそった資料の収集(継続) ▷ 資料の収集 調査研究に資する図書等の積極的収集及び提供 ▷ 各施設との連携事業や図書館連続講座にあわせた資料の収集 ▷ DVD上映会を2ヶ月に1回開催し、視聴覚資料の提供機会を拡大 ▷ 上映用のDVD資料収集を強化 ○目録・検索機能の充実(継続) ▷ 産官学プロジェクトの実施(継続) 総合目録における重複書誌データのクリーニングのための準備 ▷ 相互貸借への新規加入大学の検討 ○逐次刊行物の巻号情報の遡及入力(継続) ▷ 遡及入力と登録点検 ▷ データ化されていない逐次刊行物の特集内容を登録
6 十分な収蔵空間の確保による資料的確な保存	(22) 保存センターの役目を担う図書館としての収蔵量の確保 (23) 資料の適切な保存と書庫環境の改善 (24) 府内1冊所蔵図書の的確な把握・移管	○収蔵量の確保 ▷ 遊休府有地・府施設及び府施設の空きスペースの確認 ○資料の適切な保存(継続) ▷ 複本の除籍	○収蔵量の確保 ▷ 遊休府有地・府施設及び府施設の空きスペースの確認 ○資料の適切な保存(継続) ▷ 複本の除籍(予定) ▷ 複本の寄贈・移管 1,785冊 ○府内1冊所蔵図書の的確な把握・移管	○収蔵量の確保 ▷ 遊休府有地・府施設及び府施設の空きスペースの確認 ○資料の適切な保存(継続) ▷ 複本の除籍・寄贈・移管 ○府内1冊所蔵図書の的確な把握・移管
7 資料館・博物館・大学等と連携した文化資源の情報発信	(25) 府立総合資料館との連携の強化 (26) 博物館等の関連施設との連携の強化 (27) 大学等との連携の強化 (28) 近隣文化施設との連携の強化 (29) 府内各大学との相互貸借の促進(2再掲)	○博物館等の関連施設との連携(継続) ▷ 京都大学総合博物館等の企画展示に併せた展示会を実施 ▷ 有斐斎弘道館との連携による企画の実施 ○大学等との連携の強化(拡充) ▷ 大学生・専門学校生のゼミ・セミナー等の誘致(新規) (大学・専門学校と連携し、文化資源の活用を促進し、図書館に来館するきっかけづくりとする) ▷ 大学等の研究者を講師とする図書館連続講座の実施 ▷ 文化庁との連携(新規) 文化庁地域文化創生本部と連携した事業の実施とブックリストの作成・配付 ▷ 京都SKYセンターとの連携(新規) 京都SKYシアター大学の講座開催による文化資源活用の促進 ○近隣文化施設との連携の強化(継続) ▷ 国立近代美術館の企画展示にあわせたミニコーナーの設置 ▷ 「京都岡崎魅力づくり推進協議会」主催の事業への積極的な参加協力 ○大学との相互貸借(拡充) ▷ 京都橋大学等(予定)	○博物館等の関連施設との連携(拡充) ▷ 京都大学総合博物館と連携した企画展示 ・「京都大学総合博物館所蔵鉱物展及び府立図書館110周年ミニ展示」(於:当館ナレッジベース:8月23日~9月25日)来場者数:492名 ▷ 京都大学花山天文台との連携 「4次元デジタル宇宙シアター」上映会(9月22日)参加者90名<満席> ▷ 有斐斎弘道館との連携による図書館セミナーを実施 「京菓子をデザインしよう」(7月20日) ▷ 京都文化博物館の特別展に合わせたミニコーナーの設置 「みんなのミュージアム〜ミュージアムからマンガへ」(10.29~12.3) ○大学等との連携の強化(拡充) ▷ 京都女子大学図書館学研究会との共催 「京女サロン〜京都府立図書館を使った京女生による一週間」(於:当館ナレッジベース:8月6日~11日)来場者数:84名 ▷ 大学等の研究者を講師とする図書館連続講座の実施 ①5/26(日)54名<雨天>、②6/23(日)112名満席、③7/28(日)75名、④9/29(日)77名、⑤10/20(日)82名、⑥12/15(日)120名満席、6回計 520名 ▷ 大学生のゼミ誘致に伴う館内見学・説明会の実施(拡充) (詳細は別紙) 大学16校(272人)、専門学校1校(14人) ▷ 京都府立大学ケースメソッドキャリア演習の受入・指導助言 ▷ 30年度の演習成果をもとに作成した大学生向けパンフレット「京都府立図書館利用のススメ」を府内37大学に配布 ▷ 「インバウンド対応」、「地域連携」をキーワードに、府立図書館の今後の方策等について12名のゼミ生が演習し、指導助言を行った。 ・オリエンテーション(5月31日)、調査研究(6回)、成果発表会(9月20日) ▷ 京都SKYセンターとの連携(新規) 「京都SKYシアター大学NSCコース」を開催(ナレッジベース) ・1回目:11月13日(水) 参加20名 テーマ「健康寿命を延ばすには運動より書を読み」(講師による研修) ・2回目:11月27日(水) 参加12名 1回目参加者によるグループワーク ○近隣文化施設と連携(継続) ▷ 国立近代美術館の企画展示にあわせたミニコーナーの設置 ・「河井寛次郎」(5.12~6.2) ・「ドレスコード」(8月30日~10月14日) ・「円山応挙」(11.20~12.25) ▷ 京都シネマとの連携による映画予告編上映及び関連トークショー ・「図書館の舞台裏、見ませんか?」(6月15日)参加者72名(応募90名) ▷ 近隣美術館と連携し、館内資料の魅力を前景化したセミナーを実施 ・「岡崎周辺武田五一の建築巡り」(10月14日)参加者35名 ▷ 秋のマステまつり@京都岡崎への参加協力(9月10日~10月31日) ・当館オリジナルマステを京都市芸術大学学生のデザインにより300個作成 ・岡崎の7施設で連携し、販売する5施設のマステ購入者に当館マステを進呈 ▷ 岡崎ときあかり2019への協力:ライトアップ(11月16、17日) ○大学との相互貸借(拡充) ▷ 京都橋大学、京都ノートルダム女子大学	○博物館等関連施設との連携 ▷ 府内の博物館等が行う企画と連動した企画展示等 ▷ 京都大学総合博物館と連携した企画展示 ○大学等との連携の強化(継続) ▷ 京都女子大学図書館学研究会との共催 ▷ 大学等の研究者を講師とする図書館連続講座の実施 ▷ 大学生のゼミ誘致に伴う館内見学・説明会の実施 ▷ 京都府立大学ケースメソッドキャリア演習の受入・指導助言 ▷ オリエンテーション、調査研究、成果発表会 ▷ 同志社大学司書課程履修者の実習 ▷ 京都SKYセンターシアター大学と連携 ○近隣文化施設と連携強化(継続) ▷ 新館オープンする京都市京セラ美術館を中心に、積極的に連携 ▷ 京都市京セラ美術館、京都国立近代美術館の企画展示に関係する関連図書ブックリストを各美術館で配架 ▷ 岡崎地域で実施される各種イベントに関連した広報発信 ▷ 文化施設と連携したセミナー等の実施(京都コンサートホール等) ▷ 岡崎ミュージックフェスタと連携したイベントの実施 ○大学との相互貸借(拡充) ▷ 新たな大学への拡充

令和元年度取組状況及び令和2年度事業計画(案)について

項目	具 体 策	令和元年度事業計画 重点取組事項	令和元年度 取組状況 (R1.12月末時点)	令和2年度事業計画 重点取組事項(案)
8 電子図書館サービス・デジタルアーカイブなどへの展開	(30) 国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の充実			
	(31) 利便性の高い各種データベースの提供の促進	○国立国会図書館デジタルを活用した館内講座の実施(継続) ○利便性の高い各種データベースの提供(継続) ▷ ナクソス(音楽データベース)やDVD資料を利用した活用講座の実施 ▷ DVD上映会(7・8月)の実施 ▷ データベースによる展示企画	○利便性の高い各種データベースの提供(継続) ▷ ナクソス(音楽データベース)貸出票の発行(7月2日～実施) ログイン回数 596回(12月末現在:前年度同期 251回) ▷ データベースによる展示企画 ・「データベースで官報の『元号』をみる」展(4月26日～5月23日) ・「1945 京都の空襲」展(7月26日～8月21日) ・「データベースで雑誌が読めます」展(8月16日～9月22日) ・「聖地巡礼～舞台は岡崎～」展(9月19日～10月23日) ・図書館セミナーで法情報総合データベース「D1-Law」体験(12月1日) ▷ DVD上映会を夏休み期間に企画し、府民にアピール(計6回上映165名参加) ・「京都人の密かな愉しみ 夏」(7月3日) ・「京都・祇園祭 至宝に秘められた謎」(7月10日) ・「KYOTO 日本心」(7月24日) ・「影絵劇 銀河鉄道の夜」(8月7日) ・「西部戦線異状なし」(8月14日) ・「京都御所 秘められた千年の美」(8月28日) ▷ データベース活用に関連したミニ・コーナー設置 ・「追悼 京マチ子さん」(5月14日～7月31日) ・「終戦直後・占領下の映像記録」(8月1日～12月27日)	○利便性の高い各種データベースの提供(継続) ▷ ナクソス(音楽データベース)貸出票の発行による利用促進 ▷ データベースによる展示企画の実施 ▷ DVD上映会を2ヶ月に1回開催 ▷ データベース活用に関連したミニ・コーナー設置
	(32) 電子書籍の動向を踏まえた導入	○価値ある資料のデジタルアーカイブ化(継続) ▷ 収集した資料のデジタルアーカイブ構築にむけての検討		
	(33) 価値ある資料のデジタルアーカイブ化と発信			
9 所蔵資料紹介・レファレンス業務の充実	(34) 職員のレファレンス能力の向上	○職員のレファレンス能力の向上(継続) ▷ 図書館地区別研修(近畿地区)の実施 ▷ 市町村出前研修の講師を担当(5回)	○職員のレファレンス能力の向上(継続) ▷ 市町村立図書館等職員研修「レファレンス初級研修」の講師を担当(7月12日) ▷ 市町村出前研修の講師を担当(5回予定) 9月3日(向日市立図書館:レファレンス) 9月26日(宇治市中央図書館:レファレンス) 10月31日(宮津市立図書館:レファレンス) 11月26日(舞鶴市立東図書館:本の修繕) 1月31日(木津川市立中央図書館:本の修繕) ▷ レファレンスの対応件数(11,692件:4月～12月)	○職員のレファレンス能力の向上(継続) ▷ レファレンス対応の充実 ▷ 市町村立図書館等職員研修「レファレンス初級研修」及び「中堅職員対象レファレンス研修」(新規)の講師を担当 ▷ 市町村出前研修の講師を担当(5回予定) ○レファレンス協同データベースへの登録(継続) ▷ 国立国会図書館レファレンス協同データベースに事例を入力 ○館内展示の充実(継続) ▷ 1階・地階閲覧室・エントランスを活用した企画展示の実施(30回以上) ▷ 月毎・時事・連続講座関連等のミニコーナーの設置(20回以上) ○テーマ別資料リスト、オープンデータの公開(継続) ▷ 図書館連続講座にあわせた資料リストの作成 ▷ 企画展示、ミニコーナーでの資料リストの作成 ▷ 岡崎ワールドミュージックフェスタへの参加・協力(10月27日、於:ロームシアター)
	(35) レファレンスサービスの周知と利用促進	○レファレンスサービスの周知(継続) ▷ 府教育委員会の広報ラジオ等を活用した周知	○レファレンス協同データベースへの登録(継続) ▷ 国立国会図書館レファレンス協同データベースに事例を入力(10件:4月～12月)	○レファレンス協同データベースへの登録(継続) ▷ 国立国会図書館レファレンス協同データベースに事例を入力
	(36) レファレンス協同データベースへの積極的な登録	○館内展示の充実(継続) ▷ 1階・地階閲覧室・エントランスを活用した企画展示の実施(30回以上) ▷ 月毎・時事・連続講座関連等のミニコーナーの設置(20回以上)	○レファレンス協同データベースへの登録(継続) ▷ 国立国会図書館レファレンス協同データベースに事例を入力(10件:4月～12月)	○レファレンス協同データベースへの登録(継続) ▷ 国立国会図書館レファレンス協同データベースに事例を入力
	(37) 多様な本や情報に出会える館内展示の展開	○テーマ別資料リスト、オープンデータの公開(継続) ▷ 図書館連続講座にあわせた資料リストの作成 ▷ 企画展示、ミニコーナーでの資料リストの作成 ▷ 岡崎ワールドミュージックフェスタへの参加・協力(10月27日、於:ロームシアター)	○レファレンス協同データベースへの登録(継続) ▷ 国立国会図書館レファレンス協同データベースに事例を入力(10件:4月～12月)	○テーマ別資料リストの作成(継続) ▷ 1階・地階閲覧室・エントランスを活用した企画展示の実施(15回:4月～12月) ・「岡崎110周年」、「外交と交渉をめぐる」、「こんな本あります」等 ▷ 月毎・時事・連続講座関連ミニコーナーの設置(35回) ・「香り」、「万葉集」、「ボナンゴとツイスター」等 ▷ ホームページ上で所蔵図書・視聴覚資料の紹介(利用22回+情報15回)
	(38) テーマ別資料リストや調べ方案内の充実とオープンデータでの公開			
10 来館者への貸出サービス等の充実	(39) 貸出・返却時の利便性改善	○貸出・返却時の利便性の改善(継続) ○カウンターサービスの向上(継続) ▷ 京都市図書館との本の相互返却実施(継続) ▷ 市町村立図書館等との相互返却に向けた検討	○貸出・返却時の利便性の改善(継続) ○カウンターサービスの向上(継続) ▷ 京都市図書館との「返却資料お預かりサービス」(本の相互返却)を本格実施(H30.11.10～) (府立→京都市1,850冊、京都市→府立6,056冊) ▷ マイナンバーカードを図書館カードとして利用(登録者13名:うち今年度新規2名)	○貸出・返却時の利便性の改善(継続) ▷ 遠隔地返却サービスの検討 ○カウンターサービスの向上(継続) ▷ 京都市図書館との「返却資料お預かりサービス」 ▷ マイナンバーカードを図書館カードとして利用
	(40) カウンターサービスのより一層の向上	▷ マイナンバーカードを図書館カードとして利用できるサービス(継続) ▷ 個人貸出冊数増冊に向けた方策の検討		
11 非来館サービスの充実	(41) 各種の非来館サービスの周知と利用促進	○各種の非来館サービスの周知(継続) ▷ 京都府教育委員会の広報ラジオを活用したサービスの周知 ▷ 報道機関への積極的な広報資料の配付と丁寧な取材対応	○各種の非来館サービスの周知(継続) ▷ FM京都「府教委広報」番組で、ラジオ出演 「岡崎での開館110周年記念事業について」放送(9月18日) ▷ 報道機関への積極的な広報資料の配付 (広報資料配付33回、新聞掲載11回、NHK京都TV放映3回、KBS京都放送1回、NHK京都ラジオ放送4回)	○各種の非来館サービスの周知(継続) ▷ FM京都「府教委広報」番組で、ラジオ出演 ▷ 報道機関への積極的な広報資料の配付
	(42) ホームページに掲載する情報の充実	○ホームページに掲載する情報の充実(継続) ▷ ホームページの改善に向けて検討	○ホームページに掲載(継続)▷ホームページお知らせ欄 120回更新	○ホームページに掲載(継続) ▷ ホームページの改善に向けて検討 ○ツイッターによる情報発信の充実
12 障害者サービス等の拡充	(43) 大活字本やデジター・マルチメディアデジター図書などの充実	○大活字本、デジター、マルチメディアデジター図書の充実(継続) ○視覚障害者への貸出(継続) ○障害者差別解消法に基づくガイドラインへの対応(継続) ▷ 障害のため府立図書館に来館できない人のためのサービス実施に向けて検討 ▷ 連続講座等での聴覚障害者のための手話対応	○大活字本 74冊、デジター、マルチメディアデジター図書14点購入 ○視覚障害者への貸出 250件 ○国立近代美術館点字パンフレット作成への協力 ○府内の図書館への障害者サービス協力 ○障害者差別解消法に基づくガイドラインへの対応(継続) ▷ 「心身障害者用ゆうメール」の館内運用の検討と府内状況調査 ▷ 「本を読むことをあきらめていませんか？」チラシ作成・配布 ▷ マルチメディアデジター「宇治の橋姫さん」紹介(7月30日～9月1日) ▷ 手話通訳者付きでセミナーを開催 「図書館の舞台裏、見ませんか？」(6月15日)	○大活字本、デジター、マルチメディアデジター図書の充実(継続) ○視覚障害者への貸出(継続) ○国立近代美術館点字パンフレット作成への協力 ○府内の図書館への障害者サービス協力 ○障害者差別解消法に基づくガイドラインへの対応(継続) ○総合教育センターと連携し、特別支援教育に役立つ学校支援セットの新設(新規) ○特別支援学校への支援の充実 ▷ 特別支援学校長と連携した支援
	(44) 障害者差別解消法に基づく各種ガイドラインへの適切な対応	○特別支援学校への支援強化(拡充) ▷ K-Libnet参加とそれに伴う資料提供の充実		
	(45) 特別支援学校への資料や情報提供などの支援強化(14再掲)			
13 「歴史ある府立図書館」の演出	(46) 鳳凰図(集書院天井画)の活用促進			
	(47) 旧館家具・建設具材等を活用した空間演出	○旧館家具・建設具材等の活用(継続) ▷ 毎月第三水曜日に実施する館内見学会で活用 ▷ 図書館地区別研修(近畿地区)開催期間中の展示会を実施(於:みやこめっせ)	○旧館家具・建設具材等の活用(継続) ▷ 毎月第三水曜日に実施する館内見学会で活用 ▷ 建築史を専門とする講師による図書館セミナーを実施し、建物のデザインや調度品について解説「岡崎周辺武田五一の建築巡り」(10月14日)	○旧館家具・建設具材等の活用(継続) ▷ 毎月第三水曜日に実施する館内見学会で活用 ▷ 建築史を専門とする講師による図書館セミナーを実施し、建物のデザインや調度品について解説
	(48) 府立総合資料館との連携による古典籍の複製等の展示	▷ 京都大学総合博物館等の企画展示に併せた展示会を実施	○岡崎での開館110周年記念事業として家具等をナレッジベースで展示 ▷ 「京都大学総合博物館所蔵宝物展及び府立図書館110周年ミニ展示」(8.23～9.25)来場者数:492名	○家具等をナレッジベースで展示
	(49) 吉田初三郎鳥瞰図を活用した京都案内			
14 入りやすく利用しやすい空間の構成	(50) 来館者の目的に応じた資料や情報への的確な誘導	○来館者への的確な誘導(継続) ▷ 外国人のための案内の充実(新規) ・英語等の案内資料の作成及び館内表示の検討 ・簡易翻訳機器のカウンター設置 ▷ 風除室・エントランスに必要な情報をパネル展示 ▷ インターネットの学生によるコンシェルジュの試行	○来館者への的確な誘導(継続) ▷ 風除室・エントランスに必要な情報をパネル展示 ▷ 外国人のための案内の充実(新規) ・簡易翻訳機器のカウンター設置 ・英語・中国語・韓国語の案内資料を作成中(府国際課の翻訳済) ○屋外空間の活用(継続) ▷ 府立向陽高校・桂高校書道部による書道パフォーマンスの実施 11月4日(祝) 観客者数350名	○来館者への的確な誘導及び案内 ▷ 外国人のための案内の充実 ・簡易翻訳機器の活用 ・英語・中国語・韓国語の図書館案内資料を活用 ・京都府立大学生が作成した外国人向け指さしコミュニケーションシート(英・中・韓)の活用に向けた検討 ・洋書コーナー・洋書リストの作成(新規)
	(51) 岡崎地区での立地を活かした屋外空間の活用	○屋外空間の活用(継続) ▷ 府立高等学校と連携した野外パフォーマンスの実施		○屋外空間の活用(継続) ▷ 府立高等学校と連携した取組を検討

令和元年度取組状況及び令和2年度事業計画(案)について

項目	具 体 策	令和元年度事業計画 重点取組事項	令和元年度 取組状況 (R1.12月末時点)	令和2年度事業計画 重点取組事項(案)
15 職員の育成	(52) 研修・研究会等への積極的な参加 (53) 職員の自主研鑽の奨励や活動の紹介	○研修・研究会への参加《継続》 ▷ 文部科学省等主催の研修等に参加 ○図書館地区別研修(近畿地区)開催(主管) 2020年1月28日～31日、於:みやこメッセ ○市町村立図書館職員への研修支援 ▷ 市町村立図書館職員研修に講師を担当 ▷ 市町村立図書館等の要請に応じた出前研修を本格実施 ○館内職員への研修 ・接遇研修(新規)の実施 ・心肺蘇生法(AED)実技研修・避難訓練等の実施 ○自主研鑽の奨励《継続》 ▷ 自主研究グループ「しよまろはん」への支援	○研修・研究会への参加 ▷ レファレンス協同データベース研修(6月18日)1名参加 ▷ 著作権実務研修会(9月26、27日)2名参加 ▷ 資料修繕研修(国立国会図書館関西館:9月27日)1名参加 ▷ 全国図書館総合展(11月12～14日)全国図書館大会(11月22日)、 全国公共図書館研究集会(12月12～13日) 各研修に職員参加 ○市町村立図書館職員への研修支援 ▷ 相互貸借初心者研修(6月7日)、レファレンス(初級)研修(7月12日) ▷ 出前研修5回:9月3日(向日市)、9月26日(宇治市)、10月31日(宮津市)、 11月26日(舞鶴市)、1月31日(木津川市) ○館内職員への研修 ▷ 接遇研修(5月23日)講師:京都ブライツホテル宿泊サービス課長 ▷ 心肺蘇生法(AED)実技研修(6月27日)、防災訓練(10月24日):左京消防署	○研修・研究会への参加《継続》 ▷ 文部科学省等主催の研修等に参加 ○市町村立図書館職員への研修支援 ▷ 市町村立図書館職員研修に講師を担当 ▷ 市町村立図書館等の要請に応じた出前研修講師を担当 ○館内職員への研修 ・接遇研修の実施 ・心肺蘇生法(AED)実技研修・避難訓練等の実施 ・障害者支援に関する法律についての研修を検討
III 議論し発信する場を提供し、課題を解決する拠点となることにより、文化の創造と地域の活性化に寄与します				
16 「知的な交流の場」の創設	(54) 2階フロアの改修による議論しやすい「知的な交流の場」の設置 (55) ファシリテーターとなる職員の育成 (56) フューチャーセンターや発表の場としての機能展開 (57) NPO等他の機関や団体との連携による交流企画の推進	○NPO等との連携による交流企画《継続》 ▷ 知的な交流の場「ナレッジベース」での実験的な取組を実施 ▷ NPO等と連携した知的な交流の場「ナレッジベース」を活用したイベントへの協力・参加 ▷ 日本政策金融公庫と連携した起業相談会の実施 ▷ 京都大学総合博物館等の企画展示に併せた展示会を実施	○2階ナレッジベースの「知的な交流の場」としての活用 ▷ 岡崎ときあかりannex2019 プロジェクトマッピング入門講座(7月13日、8月25日) ▷ 京都大学総合博物館と連携した企画展示 「京都大学総合博物館所蔵鉱物展及び府立図書館110周年ミニ展示」 (8.23～9.25)来場者数:492名 ▷ 京都女子大学図書館学研究会と共催した企画展示 「京女サロン～京都府立図書館を使った京女生による一週間」 (8月6日～11日)来場者数:84名 ▷ 京都SKYセンターシニア大学と連携した講座を展開 「健康寿命を延ばすには運動より書を読み」(11月13日、27日) ▷ 日本政策金融公庫と連携した「起業相談会」及びセミナーの実施 (相談会2回、セミナー1回実施)	○2階ナレッジベースの「知的な交流の場」としての活用 ▷ 関連施設や大学等と連携した企画展示の拡充 ▷ 京都大学総合博物館と連携した企画展示 ▷ 京都SKYセンターシニア大学と連携した講座を展開 ▷ 日本政策金融公庫と連携した起業相談会やセミナーの実施
17 府立図書館の見える化の推進	(58) 府立図書館のミッションの周知と事業の効果的な打ち出し (59) SNS等の多様な広報媒体の活用	○府立図書館のミッションの周知と事業の効果的な打ち出し ▷ 大学生のゼミ誘致に伴う館内見学・説明会の積極的な実施 ▷ 見学者の自動化書庫の撮影推奨(見学者の特典として打ち出し) ▷ 京都府教育委員会の広報ラジオを活用したサービスの周知 ▷ 報道機関への積極的な広報活動及びポスターの広範な掲示 ▷ 毎月第3水曜日に館内見学会を実施《継続》 ○ SNSによる情報発信を試行《新規》 ・フェイスブック、ツイッターを活用した発信を試行 ・図書館HPの更新情報を転載及びHPへのリンクを貼る。 ○ ホームページの改善に向けた検討	○府立図書館のミッションの周知と事業の効果的な打ち出し ▷ 大学生のゼミ誘致に伴う館内見学・説明会の実施《拡充》(詳細は別紙) 大学校16校(272人)、専門学校1校(14人) うち、京都府立大学ケースメソッドキャリア演習の受入・指導助言を複数回実施 ▷ FM京都放送のラジオ出演による広報(9月18日) ▷ 報道機関への広報資料配付33回、新聞掲載11回、 NHK京都TV放映3回、KBS京都放送1回、NHK京都ラジオ放送4回 ○ SNSによる情報発信《7月30日からTwitterを新規実施》 ▷ ハッシュタグで拡散を工夫 ○ 毎月第3水曜日に実施の館内見学会:上半期参加者数 84名	○府立図書館のミッションの周知と事業の効果的な打ち出し ▷ 大学生のゼミ誘致に伴う館内見学・説明会の実施《継続》 ▷ FM京都放送のラジオ出演による広報 ▷ 報道機関への広報資料の積極的配付 ○ 毎月第3水曜日に実施の館内見学会 ○ SNSによる情報発信《継続》 ▷ ハッシュタグで拡散を工夫 ○ ホームページの改善に向けた検討
18 各種講座の実施と情報発信	(60) 書籍と情報をめぐる多様な講座の開催 (61) 研究者・団体等と連携した各種講座の展開	○ 連続講座の開催《継続》 ▷ 京都府内で活躍されている研究者の協力を得て開催 ○ 各種セミナーの展開《継続》 ▷ 講演内容に沿った図書資料を会場に展示するとともに関連図書リストを作成し配布 ▷ 府の関係機関と協働したセミナーの実施	○連続講座の開催(年6回) ①「ボナンゴとツイッター」京都大学大学院教授:5月26日(日)54名 ②「なにわの町人学者のユニークな世界」京都橋大学教授:6月23日(日)112名(満席) ③「渚の自然史」京都大学大学院教授:7月28日(日)75名 ④「もうひとつのアラビアン・ナイト」京都ノートルダム女子大学教授:9月29日(日)77名 ⑤「琵琶湖疏水と京都の近代化」京都工芸繊維大学副学長:10月20日(日)82名 ⑥「陰陽師たちの京都」京都女子大学教授:12月15日(日)120名満席 ○図書館セミナーの開催 ・「図書館の舞台裏、見ませんか?」(京都シネマ連携イベント:6月15日)72名 ・「京菓子をデザインしてみよう」+ワークショップ(7月20日)24名 ・「初めての俳句」+ワークショップ(8月18日)22名 ・「岡崎周辺武田五一の建築巡り」(10月14日)35名 ○DVD上映会の夏季集中開催(6回:延べ参加者数165名) ・「京都人の密かな愉しみ 夏」(7月3日)22名 ・「京都・祇園祭 至宝に秘められた謎」(7月10日)25名 ・「KYOTO 日本の心」(7月24日)41名 ・「影絵劇 銀河鉄道の夜」(8月7日)31名 ・「西部戦線異状なし」(8月14日)24名 ・「京都御所 秘められた千年の美」(8月28日)22名 ○岡崎での開館110周年記念事業 ▷ 「京女サロンと京都府立図書館」(8月6日～11日)84名 ▷ 「京都大学総合博物館所蔵鉱物展及び府立図書館110周年ミニ展示」 (8月23日～9月25日)492名 ▷ 「4次元デジタル宇宙シアター」上映会(9月22日)参加者90名<満席> ▷ 古典の日記念「京都府立図書館落語会」(11月2日) 応募510名 参加116名<満席> ▷ 「書道パフォーマンス」府立向陽高校・桂高校書道部(11月4日)観客 350名	○連続講座の開催 ○図書館セミナーの開催 ○DVD上映会の開催
19 行政支援サービスの推進による府民への貢献	(62) 行政機関向けレファレンスサービス・複写サービスの実施 (63) 府庁への資料配送の実施	○行政機関へのレファレンスサービス・複写サービス《継続》 ○府庁への資料の配送《継続》 ▷ 議会図書館を窓口とした府庁各課への貸出資料の配送 ○京都府家庭支援総合センターへの貸出事業《継続》	○行政機関へのレファレンスサービス・複写サービス《継続》 ○府庁への資料の配送《継続》 ▷ 議会図書館を窓口とした府庁各課への貸出資料の配送を開始 (1課8冊・議会図書館256冊:4月～12月) ○京都府家庭支援総合センターへの貸出事業400冊《継続》	○行政機関へのレファレンスサービス・複写サービス《継続》 ○府庁への資料の配送《継続》 ▷ 議会図書館を窓口とした府庁各課への貸出資料の配送 ○京都府家庭支援総合センターへの貸出事業《継続》 ○行政・団体と連携した講座の開催《新規》 ▷ ジョブパーク、ライトハウス、商工会議所等との連携
20 サービスデザインチームによる新たな取組への挑戦	(64) 外部の力を活用したサービスデザインチームの設置	○ サービスデザインチームによる挑戦《継続》 ▷ 知的な交流の場「ナレッジベース」での実験的な取組の企画と当日の運営 ▷ NPO等と連携した知的な交流の場「ナレッジベース」を活用したイベントへの協力・参加	○サービスデザインチームの活動 ▷ 日本政策金融公庫と連携した「起業相談会」及びセミナーの継続実施 (7月10日、9月11日) ▷ ウィキペディアタウンへの協力(京丹後市:5月26日、9月7日) ▷ 各団体への協力 ・オープンデータソン(4月7日、6月29日) ・グラフィックファシリテーション勉強会 (4月6日、5月18日、6月22日、7月7日、8月12日、9月28日)	○ サービスデザインチームによる挑戦《継続》 ▷ 知的な交流の場「ナレッジベース」での取組の企画と当日の運営 ▷ NPO等と連携した知的な交流の場「ナレッジベース」を活用したイベントへの協力・参加